

□

開催日時 : 令和7年12月1日(月) 13時30分～16時00分

開催場所 : 高知県立県民文化ホール 4階 第6多目的室

審査委員 : 農業振興部 副部長 岡本 昌幸  
農業政策課長 川谷 知世  
農業担い手支援課長 田村 周一  
環境農業推進課長 千光士 啓  
農業イノベーション推進課長 平田 建彦

高知県青年農業士連絡協議会会長 政光 錫明

高知市東部土地改良区 理事長 大野 哲

株式会社南国スタイル 代表取締役専務 中村 文隆

高知大学教育研究部 自然科学系 農学部門 教授 佐藤 周之

(1) 【審査】整備事業 1地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
農地中間管理機構関連農地整備事業	大津鹿兒	高知市

【質疑/回答】

Q (委員)

- ・ 湿田で地下水位が高いが、通常の管渠暗渠で対応可能か？

A (事務局)

- ・ 現段階は概略設計で一般的な構造を採用。詳細設計でボーリング調査等を行い、必要に応じ追加対策を検討する。

Q (委員)

- ・ 施設園芸法人が手掛ける作物はキャベツだけか？経営規模は？

A (事務局)

- ・ キャベツだけかどうかは未確認だが、経営規模は地区内で約6ha、地区外では約16haと聞いている。地区の担い手として参画予定。

Q (委員)

- ・ 中間管理機構制度との関係は？農地は全て預けるのか？

A (事務局)

- ・ 事業要件として 全筆を機構へ預託し、15年以上の貸付が必要。担い手へ重点的に再配分する計画。

Q（委員）

- ・ 高齢担い手の後継者は？事業後の継続性は？

A（事務局）

- ・ 後継者がいない担い手もいる。整備後の営農継承については今後地域で議論し、対策を検討する。

(2) 【審査】防災事業 1地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
湛水防除事業	芸西	芸西村

【質疑/回答】

Q（委員）

- ・ 地区のポンプ台数が大幅増だが、根拠は？

A（事務局）

- ・ 従来 of 国（農水省）の整備基準が 1/10 年確率雨量（317mm/3 日）であった。
- ・ 近年の降雨実績（523mm）を考慮し、現行 of 国（農水省）の整備基準である 1/20 年確率雨量（655mm）とした。
- ・ これに対応するため 11 台体制が必要と判断。

Q（委員）

- ・ ポンプ排出先の河川能力は排出する水量に対応可能か？

A（事務局）

- ・ 50 年確率の流量を流せる断面があると土木部に確認済み。

(3) 【報告】整備事業 17区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
農地耕作条件改善事業	土居	安芸市
農地耕作条件改善事業	伊尾木	安芸市
農地耕作条件改善事業	下関	本山町
農地耕作条件改善事業	針木	高知市
農地耕作条件改善事業	新居	土佐市
農地耕作条件改善事業	穴内西地	安芸市
農地耕作条件改善事業	越行	四万十町
農地耕作条件改善事業	飯ノ川	四万十町
農地耕作条件改善事業	市野瀬	黒潮町
農業水路等長寿命化・防災減災事業	東中筋 2 期	四万十市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	片地	香美市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	押岡源蔵 2 期	須崎市
水利施設等保全高度化事業	新居	土佐市
水利施設等保全高度化事業	岡崎	佐川町
農村整備事業	兔田	香南市
農村整備事業	須崎	須崎市
農村整備事業	竹島	四万十市

【説明者：農業基盤課（整備事業担当）】

【質 疑】

Q（委員）

- ・ 団体営の負担率・個人負担は？

A（事務局）

- ・ 市町村が独自に設定。集積率が高い場合は個人負担 0 のケースもあり得る。

Q（委員）

- ・ 規模拡大者 2 名だけのために税金投入する妥当性は？

A（事務局）

- ・ 担い手が研修生受け入れ等による地域貢献を見込んでおり、地域担い手育成の効果が期待される。

Q（委員）

- ・ 年齢基準はあるのか？（若手優先？）

A（事務局）

- ・ 明示基準はないが、将来性を考え若手や収益見込みの高い担い手を重視して選定。

Q（委員）

- ・ 事業後の追跡調査は行うのか？

A（事務局）

- ・ 事業完了後、設定した目標年度まで達成状況の報告義務があり、県が確認する。

Q（委員）

- ・ ゴム堰で整備するとなると、また数十年で劣化するのでは？より耐久性のある構造にできないか？

A（事務局）

- ・ 施設は現時点で自立不可の緊急状態。
- ・ 地元からの要望もあり、早期復旧を最優先し、まずはゴム堰更新で対応。
- ・ 将来の長寿命化構造については今後の検討課題。

Q（委員）

- ・ トンネルの劣化箇所はどこか？構造的問題は？

A（事務局）

- ・ 劣化は入口付近のタイル剥離・ひび割れが主。
- ・ トンネル本体コンクリートにも部分補修が必要な可能性あり。
- ・ 詳細設計で構造状態を再評価し、必要に応じ補強工事を実施。

Q（委員）

- ・ トンネル補修、裏込め不足など構造的劣化の懸念は？

A（事務局）

- ・ 専門点検結果に基づき、モルタル注入・補強などの対策を検討。
- ・ 今後の詳細設計で安全性を精査。

Q（委員）

- ・ 農道だが漁業関係車両も通行する。整備区分（事業を所管する省庁）はどう決まる？

A（事務局）

- ・ 当該道路は元々農道（ふるさと農道）として整備され、農道として管理されているため農水省（農村振興局）所管事業で対応する。

(4) 【報告】 防災事業 3 地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
ため池整備事業	香南市 2 期	香南市
ため池整備事業	口目ノ川池	四万十町
農村地域防災減災事業	野市町 1 期	香南市

【説明者：農業基盤課（防災事業担当）】

【質 疑】

Q (委員)

- ・ ため池補強に使う材料（粘土 or シート）の選定基準は？

A (事務局)

- ・ 粘土が確保できる場合は、粘土遮水型で施工。
- ・ 粘土確保が困難な場合は、ベントナイトシートを採用。

Q (委員)

- ・ ベントナイトシートは地震動に対して滑りが起きやすいという事実がある。粘土がないから安易にシートではなく、工法選定にあたっては慎重に検討した方が良いと思う。

A (事務局)

- ・ 地震時滑動の懸念は認識しており、施工上の工夫で対応。